参考資料

重点課題等

（内容は前回作業部会資料と同一）

令和元年7月24日
内閣府（原子力防災担当）

当面重視すべき課題

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

避難計画の骨格部分であり、かつ調査等に時間を要するものについては特に重視して進める必要がある。
志賀地域の進捗状況を踏まえ、当面重視すべき課題を次のとおり提示する。

1　避難退域時検査体制

（1）　検査場所候補地の検討
　　十分な検査スペース、建物が確保できる場所を検討
（2）　検査体制の確立
　　レイアウトの作成、資機材及び検査要員の確保、実動機関及び事業者との連携

当面は1避難経路につき1検査場所の確保に努める。

2　要支援者の細部調査

個別計画を作成し、要支援者が円滑に避難・一時移転できる体制を構築
（1）　支援者の有無
　　支援者（家族、近所等）がいない場合は確保を検討
（2）　福祉車両の要否
　　車いす、ストレッチャー仕様の福祉車両の必要数の算出に必要

一般防災部署が作成する個別計画に合わせて作成することが効率的
石川県については、PAZ調査中の志賀町以外のUPZ市町の早期着手が必要

当面重視すべき課題

3　県内福祉車両数の調査

自治体やタクシー会社が保有する車両にとどまらず、県内の社会福祉施設等が保有している福祉車両の台数を調査し、地域内の輸送能力を把握する。

4　各種協会との連携強化

（1）　協定の締結の目標に、両県主導により各種協会と協議を進める。協会の懸案事項については内閣府等と共有し、必要に応じ同府も協議に参加する。
（2）　当面の目標
　ア　研修の参加
　イ　県防災訓練への参加

その他取り組むべき課題

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan

重視課題に加え、下記の課題についても可能な限り同時並行で検討を進める。

- 病院患者及び社会福祉施設入所者の避難先のマッチング（UPZ）
- 学校の避難要領整備
- 受入れ市町の体制整備（マニュアル作成等）
- 物資供給体制の整備（集積拠点等）
- 除雪体制の確立
- 安定ヨウ素剤の事前配布準備（PAZ）
- 円滑な交通体制整備